

モニタリング
データシート

その他

第4回千葉県国土利用計画地方審議会調査検討部会

平成21年7月24日

⑥その他

規模の目標

単位：h a

〈基準年次 H16〉	〈規模の目標 H29〉
86,600	83,200

現状と課題

公園緑地の面積は、漸増傾向で推移しており、平成17年現在の都市公園等の面積は約3,500haとなっています。都市の公園緑地は、自然環境の保全や大気の浄化、騒音の防止等の環境保全、人々に潤いとゆとりを与える憩いの場、災害時の避難場所、良好な景観形成等、都市の質的向上に寄与する多様な役割を果たしていることから、より充実を図ることが重要です。

施策の方向性

ア 新たな都市公園の整備を促進するとともに、緑化の推進、緑地の保全を図っていきます。

イ レクリエーション施設は、森林等の自然的土地利用からの転換を伴うものについては自然環境の保全に配慮し、慎重に対応していきます。なお、ゴルフ場の開発については、自然環境の保全や適切な県土利用を図るため、引き続き抑制していきます。

ウ 低未利用地は、農山村や都市等、それぞれの立地条件に応じて、周辺の土地利用との調和に配慮しながらその有効利用の促進を図っていきます。

エ 沿岸域は、地域の特色に応じて、漁業、レクリエーション、海上交通等として利用されている一方、豊かな自然環境を有することから、長期的な視点に立ち、総合的な秩序ある利用を図っていきます。その際、沿岸域の多様な生態系や豊かな水産資源、県民に開放された親水空間等としての利用に配慮します。また、県土の保全と安全性の向上に資するため、海岸の保全を図っていきます。なお、新規の埋立てについては、その必要性を慎重に検討するとともに、自然環境、漁業の実態、水際線の有効利用等に十分配慮しながら適切に対応していきます。

面積の根拠

○算出方法

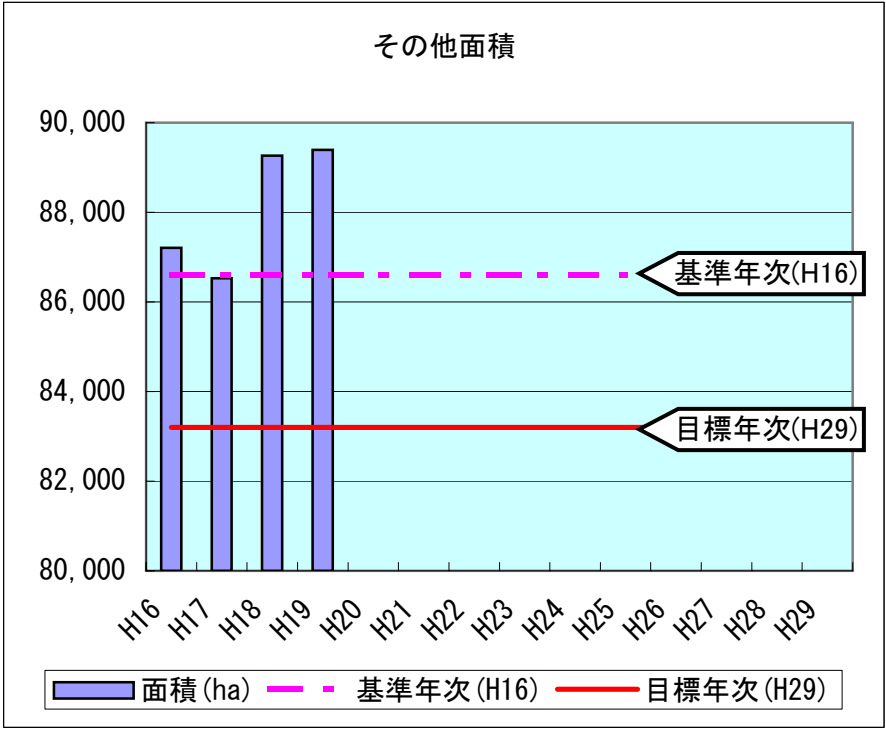
$$\text{その他} = \text{県土面積} - (\text{農用地} + \text{森林} + \text{水面・河川・水路} + \text{道路} + \text{宅地})$$

○出典

県土面積：千葉県統計年報

面積の推移

	面積 (ha)
H16	87,209
H17	86,530
H18	89,267
H19	89,390
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



データの集計方法

調査年までの累計

データ推移の目標方向

その他の状況

平成22年度	
平成24年度	
平成26年度	
平成28年度	

モニタリング総括表（その他）

施策の方向性	取組	モニタリング指標	指標の出典	統計頻度	データシート	データ目標	モニタリング結果			
							22年度	24年度	26年度	28年度
（公園緑地）										
都市公園の整備の促進	・都市公園整備の推進	・都市計画区域内人口一人当たり都市公園面積	都市公園等整備現況調査(国土交通省)	毎年	1	↗				
		・県立都市公園の開設面積	公園緑地課調べ	毎年	2	↗				
	・市街地の緑の保全・創出	・特別緑地保全地区数・面積	都市緑化施策の実績調査(国土交通省)	毎年	3	↗				
（レクリエーション施設等）										
自然環境の保全への配慮	・ゴルフ場開発の抑制	・ゴルフ場開場(又は完了)件数、面積	都市計画課調べ	毎年	4	→				
		・自然環境保全地域等面積	自然保護課調べ	毎年	5	↗				
	・自然環境や景観の保全	・自然公園面積	自然保護課調べ	毎年	6	→				
		・自然公園施設利用者数	自然保護課調べ	毎年	7	↗				
（低未利用地）										
有効利用の促進	・耕作放棄地の発生防止 ・土地区画整理事業、宅地開発等による住宅地の供給 ・市街地再開発事業の促進	①農用地に記載								
		⑤宅地に記載								
（沿岸域）										
総合的な秩序ある利用	・海岸の保全	・海岸整備率	河川整備課調べ	毎年	8	↗				

※『データ目標』は、各指標の数値が矢印の方向へ増加又は減少していれば、良好な状態に推移していると考えられるので、その目安として表示しています。

※『モニタリング結果』は、直近のデータと比較したときの指標数値の変化を表示しています。